

トライアングル

発行日／平成 28 (2016) 年 7 月

発行／一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会 発行責任者／松上利男 編集／安本伊佐子

〒 542-0012 大阪府中央区谷町 7 丁目 4 番 15 号 大阪府社会福祉会館内

TEL 06-6763-3785 FAX 06-6763-3759 E-mail osaka-chifukukyo@giga.ocn.ne.jp

平成 28 年 6 月 30 日 (木)

定時社員総会が開催される！ 1
第 50 回

大阪知的障がい児・者合同ソフトボール記念大会 2

●ぶらり施設訪問記●
障害者支援施設 北摂信愛園 3

●ちょっとつぶやきリレー●

かしま障害者センター Link 水津由依 3

●部会・委員会報告●

権利擁護委員会／編集委員交代のお知らせ 4

平成 28 年 1 月～6 月 活動報告 4

インフォメーション 4

平成 28 年 6 月 30 日 (木) 定時社員総会が開催される！

当日の出席者 99 名と、書面による議決権行使が 49 名、計 148 名の出席の下、総会は成立し、全ての議案が承認されました。総会終了後、国立大学法人筑波大学障害科学域 名川 勝氏をお招きして、研修会「意思決定支援の在り方について」を開催。138 名の参加がありました。

会長退任のご挨拶

安本 伊佐子

平成 20 年 8 月から 4 期 8 年にわたり務めさせていただいた会長を 6 月 30 日の社員総会をもって退任いたしました。皆様方のご支援があったからこそ、無事に務めることができた心から感謝申し上げます。

振り返りますと、平成 12 年度の介護保険制度導入後、平成 15 年度から障がい福祉制度においても、それまでの措置制度から利用契約制度へと福祉サービス提供の仕組みが大きく変化しました。その後、平成 18 年度に障害者自立支援法へ、平成 25 年度には障害者総合支援法へと形を変えました。障がい福祉を取り巻く環境が大きく変化した激動の 10 年間で、会長として一般社団法人大阪知的障害者福祉協会（以下、大阪福祉協会）の運営に携わった経験は貴重だったと実感しています。

深く印象に残っていることは、会長就任直後の平成 19 年度から平成 21 年度にかけ、当大阪福祉協会会員事業所における 3 年連続の知的障がい児者入所施設での人権侵害事案に直面したことであります。その対応策として、重点的に虐待防止に向けた事業を実施したことです。とりわけ、3 カ年事業としての「施設訪問コンサルテーション事業」、「虐待防止マニュアルの作成」であります。

また、諸先輩方の長年の念願だった大阪福祉協会の「法人化」、昭和 38 年に発足した大阪福祉協会の歴史をつなぐ「50 周年記念誌」の発行など、目標としたことが役員をはじめ会員事業所のご支援、ご協力を得て実現できたことに感謝しています。

会長退任に際して、やり残した課題はいくつかありますが、新たに就任する松上利男会長のリーダーシップの下、役員、会員事業所が一丸となって前進することを期待しています。会長は退任いたしますが、引き続きも兼ねて副会長（兼事務局長）として、今しばらく大阪福祉協会の運営に関与しますので、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長就任のご挨拶

松上 利男

会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。私自身の会長としての最大の役割は、当大阪福祉協会運営を担う若い世代の人たちへバトンを渡すことにあります。

ですから、そのことを進めるためには、施設長さんをはじめ、特に若い人たちが積極的、主体的に活動に参加していただける仕組みづくりや活動内容を提供しなければならぬと思っています。新しく選任された役員の方々と組織の活性化に向けた議論を行い、具体的な取り組みにつなげていきたいと思います。

また、同時に組織の活性化のためには、情報の共有化が重要です。協会活動については、既に機関紙「トライアングル」を通しての情報発信をしていますが、協会ホームページなどを通しての協会活動の「見える化」を工夫して、情報の共有化をより進めて参りたいと思っています。

既に先行行われました平成 28 年度総会におきまして、平成 28 年度協会事業方針をお示しいたしましたが、その概要は、以下でございます。

1. 政策の検討・提言については、その財源の問題も含めたりアリティのある議論を深める。
 2. 人材確保と育成に向けた情報交換・研修の充実に取り組む。
 3. 利用者の権利擁護・虐待防止、意思決定支援の取り組みを推進する。
 4. 障がい福祉制度、介護保険制度の理解と障がい福祉制度の充実に向けた政策提言の取り組みを進める。
 5. 大阪福祉協会組織の活性化、運営の透明性の確保と情報発信を進める。
 6. 行政、関係団体との連携、協働の取り組みを進める。
- 以上について、少しでも前に進める活動を皆様のご理解、お支えにより実施する所存でございますので、皆様の協会活動へのより一層のご参加をお願い申し上げます。





第50回大阪知的障がい児・者 合同ソフトボール記念大会



第50回となる当大阪福祉協会主催「大阪知的障がい児・者合同ソフトボール記念大会」が、6月2日（木）、強豪18チームの参加の下、久宝寺緑地公園において開催されました。

当日は絶好のソフトボール日和となり、各リーグとも珍プレー好プレー続出の記念大会にふさわしい活気溢れる一日となりました。

また、今大会に元プロ野球（南海ホークス）選手の小池兼司さんがスペシャルゲストとして会場に駆けつけていただき、選手への激励のご挨拶を頂戴したほか、サイン入り記念色紙を全チームにプレゼントしていただくというサプライズもありました。選手の皆さんには大きな励みになった事と思います。

閉会式では、参加した選手の皆さんから「来年も是非開催してほしい」との強い希望が上がり、実行委員会としても長年継続してきて良かったと思える感慨深い一幕もありました。

今回は50回記念大会という事で、大阪福祉協会からプロのカメラマンによる集合写真と卓上フォトスタンドが各チームに贈呈されたほか、一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会から選手全員に、5色のボールペンが参加賞として贈られました。

ご来賓を始め、ご協力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

〈ご来賓〉 大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課課長 米田 信也 様
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団専務理事 三宅 統二 様
元プロ野球（南海ホークス）選手 小池 兼司 様

リーグ	優 勝	準優勝	3 位
A	サンライズ	支援センターしらさぎ	向陽 ALLSTARS
B	敷津浦学園	つばさアスレチックス	支援センターさくら
C	さらの郷さーず	四条囃福祉会	ガッツせんぼく
D	恵生会	中津学園	科長の郷
E	第二博愛／わららか	KIRARI'S	
F	いわき生野学園	チーム光生会	ガッツとうふく



社会福祉法人北摂信愛園 障害者支援施設 北摂信愛園



上段：谷田部長、前田施設長
下段：遠近部長、櫻井部長

職員室での終礼
(申し送り) 風景



大阪府豊能郡豊能町川尻 72-5

取材日：平成 28 年 7 月 6 日（水）

取材者：浦野 秀樹、高原 良太
(茨木学園)

北摂信愛園には、現在47名（定員50名）の方が入所されています。施設は豊能町の山間部にあり、本館と呼ばれる居室・管理棟と、日中活動棟、作業場に別れています。本館には、利用者がTVを観て寛ぐ事のできる広い娛樂室が3ヶ所ありました。また、各部屋にはボランティアの方が撮影された写真が数多く額に入れられ飾られています。

● 日中活動を改革中

施設では、利用者の自立支援に力を入れて取り組んでいます。作業机は課題に集中できるようにパーテーションで仕切られ、利用者は個々の特性を生かした課題に取り組んでいます。トランジションカードを使った視覚的な支援も行なっていました。遠近部長を中心に、1年ほど前から日中活動棟の机などの配置や活動を見直した事で、利用者のできる事が新たに分かり、職員も徐々に活動に対する意識が変わってきたそうです。

サービス管理責任者でもある遠近部長は、個別支援計画の作成過程の見直しに奮闘中との事。モニタリングを月ごとに実施する事によって、ニーズを重点的に支援する取り組みを始めているそうです。

● 閉鎖的から対外的（地域）へ

昨年、職員による不適切な支援が報道されました。4月に就任された前田施設長は、信愛園は山間部にあるため、閉鎖的で地域との関係が希薄であった事が一因と分析されています。現在、施設では、

利用者さんとの街頭募金活動や、地域主催のお祭りにも積極的に参加して近隣住民の方に施設の事を知ってもらおう機会を増やしているそうです。また、4月からホームページを開設。さらに、6月から職員のユニフォーム（施設名と名前を刺繍したポロシャツ）を新調し、職員の一斉団結と地域の方々へのアピールを図っています。また、今まで家族向けだった広報誌を対外的な物に作り替えるなど、社会福祉法人として地域と密着した取り組みを目指していると力説されていました。

● 今後目指すもの

前田施設長は、これまでも取り組んできた職員研修を毎月実施し、他にも虐待防止委員会、安心・安全委員会の見直しを図られたそうです。事故・ヒヤリハット報告書を活用していくために、職員全員でルールを決め、様式も簡素化する事によって事故防止の意識が高まったと話されていました。8月からは、大阪福祉協会の権利擁護委員会に職員を派遣する予定で、施設の中だけではなく外部との交流や意見交換が大事だとも話されています。また職員の入替わりがあり、勤続年数の若い職員が多いので、組織的な職員体制を作り上げて行きたい、そして、法人の基本理念である、『信じる心』『愛する心』を大切に、信愛園にかかわるすべての人々の『幸せ』を目指す』を再度意識して支援する事が大切だと仰っていました。

ちょっとつぶやき... リレー

かしま障害者センターLink

水津 由依

私は平成25年より、社会福祉法人加島友愛会Linkで就労支援員として1年、その後はジョブコーチとして働いています。

先日、私は1人のOBさんの会社さんへ訪問させてもらいました。最近の様子を確認したり、状況の聞き取りを行うなかで、本人から「欠勤をする」と迷惑がかかるから、健康には気をつけています」と話をしてくれていました。訓練時には、体調不良で休むこともあったので、実際に働くことで仕事に対する責任や自覚も芽生えてきているのだと、嬉しく感じました。職場の方に話を伺うと「彼はここに、必要不可欠です」と言っていたが、その言葉をかけてもらったOBさんはとても誇らしい表情で業務に戻っていかれました。会社の方々が必要とされているということ、彼も働き続けることができるのだと思います。

これからも、1人でも多く1社でも多く、障がい者雇用の橋渡しができるように頑張っていきます！

次回は
グループホーム
の世話人さん
にお願いします



平成27年1月開催の中堅職員研修受講者から、公募による7名の委員で活動を開始した「良い支援を広げる職場づくり」は前年度計6回の委員会活動を開催しました。

虐待につながる不適切な支援に着目するのではなく、各々の現場に埋もれている「良い支援」に気づき、良い支援を広げる、そして不適切な支援を減少させる職場環境の創造に各事業所の協力を得ながら取り組みました。委員会では各委員が日常の支援の場での気づきを共有。例えば、現場での「言葉遣い」への疑問から、「子ども扱いをしない」といったテーマを設定し、各々の事業所で共通の取り組みをしました。さらには各々の施設が工夫を凝らしながら実践し、参考になる実践を各事業所でさらに工夫した上で展開するといった波及効果が生まれました。

本委員会の取り組みから明らかになったことは、①継続することの重要性、②管理職のバックアップ（事業所としての取り組みの明確化）、③「権利擁護」をコミュニケーションツールとして活用することです。主たる活動内容は前年度同様で各事業所で組織に合った実践に取組んでいきます。具体的には

○各委員が日常の支援の場での気づきから課題を共有し、共通のテーマによる各事業所での取り組みを行います。

○各委員が事業所で工夫した実践を開示し、他の委員が各々の事業所でさらに工夫を重ね、発展させ、さらに共有できるパイラル・モデルで展開します。

○本委員会の活動は実践的取組みであり、管理職のバックアップ（事業所としての取り組みの明確化）をお願いします。

平成28年度は活動を継続する事業所以外に新たに数か所の事業所を公募予定です。是非、積極的な参加をお待ちしています。

（権利擁護委員長 油谷 佳典）

編集委員交代のお知らせ

吉武貞直さん（茨木学園）から編集委員を引き継ぐ事になりました高原良太（同）と申します。今回、施設訪問記の取材をさせていたく中で、活動や取り組みを拝見する事が出来て、大変勉強になりました。今後ともトライアングルを通じて、他施設の職員との交流が深まればと思っています。



平成28年1月～6月活動報告

1月

- 中堅職員研修：「障害者差別解消法について」講師：大阪福祉協会 顧問弁護士 井上計雄氏（14日）
- （社福）大阪手をつなぐ育成会「平成28年新成人と還暦を祝う集い」安本会長出席（17日）
- （社福）大阪手をつなぐ育成会「新年懇親会」安本会長出席（19日）
- 役員会（22日）
- 相談支援部会「意思決定支援について考える」（22日）
- 「第34回スポーツフェスタ2015大阪」反省会（22日）
- 機関紙「トライアングル」145号発送（25日）
- 児童発達支援部会（通園）幹事会（27日）
- 地域支援部会（グループホーム）（27日）
- 権利擁護委員会：かしま障害者センター見学（28日）
- ワークセンターいまがわ5周年記念感謝祭 安本会長出席（30日）
- 大阪知的障害児者生活サポート協会との共催による「集まれグループホーム」開催（31日）

2月

- 第4回障害者支援施設部会幹事会（3日）
- 第7回日中活動支援部会施設長会（大阪府肢体不自由者協会交野自立センター見学）（8日）
- 第52回近畿地区知的障害関係施設職員研修会（京都平安ホテル）（9日～10日）
- 第6回障害者支援施設部会施設長会（12日）
- 児童発達支援部会（通園）施設長会（16日）
- 地域支援部会（短期入所）：中津学園見学（17日）
- 役員会（19日）
- 北摂施設長会（23日）
- 相談支援部会（26日）

3月

- 全国部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議（東京：2～3日）各部会長6名参加
- 勉強会「医療同意と死後事務への対応について」講師：大阪福祉協会 顧問弁護士 井上計雄氏（10日）
- 第8回日中活動支援、生産活動・就労支援部会（社福）青葉仁会生駒事業所見学（14日）
- 役員会（18日）
- 近畿地区施設協会役員会（神戸：23日）

- 権利擁護委員会（24日）
- 地域支援部会（グループホーム）（25日）

4月

- 役員会（15日）
- 熊本地震による被災施設等に対する義援金募集（21日～5月20日）
- （社福）桃花塾創立百周年記念式典 安本会長出席（23日）
- 平成28年度第1回障害者支援施設部会施設長会（28日）

5月

- 第16回大阪府障がい者スポーツ大会開会式 浦野副会長出席（15日）
- 平成27年度大阪福祉協会監事監査（18日）
- 「第50回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール記念大会」抽選会（20日）
- 役員会（20日）
- 平成28年度第1回障害者支援施設部会幹事会（26日）
- 権利擁護委員会（26日）
- 「第3回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」募集開始

6月

- 「第50回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール記念大会」（2日）
- 機関紙「トライアングル」編集会議（20日）
- 全国施設長会議（横浜：23日～24日）
- 理事会・役員会（30日午前）
- 平成28年度定時社員総会（30日午後）
- 研修会（30日午後）「意志決定支援の在り方について」講師：筑波大学講師 名川勝氏

●熊本地震に対する義援金

ご協力いただき誠にありがとうございました。頂戴しました義援金（195万874円）は日本知的障害者福祉協会を通じて被災地に届けられます。

●井上計雄顧問弁護士による法律相談について

平成28年度も昨年同様、毎月第2木曜日午後1時～3時ただし、8月のみ、10日（水）となります。お申し込みは1週間前までに大阪福祉協会事務局まで。